

1 山口県の交通事故発生状況 (令和6年11月30日現在)

区 分	発生件数	死者数	負傷者数	物損事故件数
令和6年	1,943	48	2,301	34,017
令和5年	2,053	28	2,441	33,527
増減数	-110	+20	-140	+490

* 令和6年中の物損事故件数は概数

2 交通死亡事故の特徴 ~48件48人 (令和6年11月30日現在)

年齢層別 高齢死者が35人で、前年の高齢者死者数と比較すると19人増加で、全死者の72.9%を占めている。

道路形状別 交差点における事故で14人が亡くなられ、前年の同道路形状と比較すると8人増加しており、カーブにおける事故で12人が亡くなられ、前年の同道路形状と比較すると8人増加している。

事故類型別 車両単独事故で15人が亡くなられ、前年の同事故類型と比較すると5人増加しており、横断中歩行者対車両で11人が亡くなられ、前年の同事故類型と比較すると6人増加している。

ドライバー年齢層別 65歳以上の運転手による事故が22人(75歳以上は18人)で、前年の65歳以上の運転手の死者数と比較すると11人増加(75歳以上は13人増加)している。

※ドライバー事故：第1当事者が原付以上の車両の運転により起きた事故